



日野学園だより

33

品川区立小中一貫校 日野学園
校長 青木 経

平成21年2月2日

ホームページアドレス <http://www1.cts.ne.jp/~hinogaku/>

児童・生徒会の活動に対して 東京都教育委員会より表彰される

校長 青木 おさむ 経

本校の児童・生徒会は、一貫校として5～9年生から役員が選出され「市民科」の目的でもある自治的な活動において、5～7年生は責任を持って取り組みことができる能力の育成に励んでいます。また8,9年生は、同じく「市民科」の自治的活動領域においてリーダー的な役割を果たすことが出来る能力を、児童・生徒会活動を通して身に付けています。

1年間を通して、学校生活の中で果たす児童・生徒会の役割は、大規模校である本校においては非常に大きく、役員の児童・生徒たちの責任は重大です。それだけに選ばれた役員は、常に自覚ある行動が求められると共に、仕事の範囲は学校だけでなく地域の活動においても様々な形で日野学園の代表として活躍しています。

その一つが、地域清掃のボランティア活動です。毎月1回、第2土曜日の午前中に地域の商店街やPTAの保護者の方々と協力して五反田駅周辺を中心におこなっている活動です。その歴史は古く、当時の日野中学校の生徒会活動の一つとしてあったものが、日野学園が現在の地に開校されてからも、その伝統が受け継がれ新たにPTAと児童・生徒会が一体となり発展的に活動しています。毎月「児童・生徒会朝礼」で児童、生徒に呼びかけ今では多いときは100名以上の参加があります。基本的には5年生からの参加ですが、保護者の方々と一緒に4年生以下の子どもたちも、地域清掃の一員として立派にその役割を果たしています。

その様子が昨年の12月に品川ケーブルテレビに取り上げられ反響を呼びましたが、この度、日野学園の児童・生徒会に対して品川区の教育長表彰と同時に、東京都教育委員会からも表彰されることになりました。2月6日(金)に品川区児童・生徒教育長表彰式が第3庁舎でおこなわれますが、2月7日(土)には、東京都庁の大会議場での表彰式に児童・生徒会の代表が出席します。今回の表彰は、現在の児童・生徒会だけではなく今までにこの活動に携わっていただいた方々の善行が認められたものであり、日野学園としてはご協力いただいている皆様方に対して、感謝の念に堪えません。深く御礼申し上げます。

日野学園の児童・生徒会は、地道に継続的な活動を今後とも取り組んで参りますが、今年は新たに第一日野幼稚園との連携活動をおこないました。1月10日(土)第一日野幼稚園での「もちつき大会」では、児童・生徒会の呼びかけで餅つきのボランティアを募り13名の生徒たちが第一日野幼稚園の幼児たちと餅つきを楽しみました。当日は、園長先生からご紹介を受けた後、餅つきのお手伝いをしたり、ついた餅を幼児たちと語りながら食べたりしました。

2月2日(月)～6日(金)は学校公開です。2月6日(金)には新1,7年生の説明会がおこなわれます。PTAのご厚意により、今回の受賞に対して正面入り口に長さ10メートルの垂れ幕を作っていただきました。ご来校の際には、是非ご覧いただきたいと思っております。

2月の児童・生徒の生活目標は「次年度への目標を立てよう」です。日野学園の次年度の目標は本年度と同様に2つの柱です。詳しい内容については、来月の学校だよりでお伝えする予定です。

学年の締めくくりの時期になりました。形は様々ですが、どの学年も自分の1年間を振り返り、成長や成果、これからの課題を整理する学習に取り組み始めています。本日から本年度最後の学校公開が始まります。お子様の様子を是非ご覧いただき、この1年間の成長を親子で語り合い、よいところを認めて、4月からの新たな目標＝やる気につなげていただけたら幸いです。

さて、やる気は、「向かう力」であり「エネルギー」です。子どもは、元来旺盛なチャレンジ精神をもっており、自分の周りのひと・もの・ことに積極的にかかわりながら育ちます。「まねる」「さわる」「ためす」などの実際の行動を通してさまざまなことを学び、身に付けていきます。幼児の行動はまさにこのやる気の塊です。

しかし、年齢があがるにつれてこのやる気、エネルギーが先細りになっていく傾向があることも事実です。さまざまな要因が関係していますが、周りの大人の対応ひとつで「やる気」を引き出すことができますし、逆につぶしてしまうことにもあります。まずは、失敗しても大丈夫という安心感のもてる環境作りが大切です。失敗が許されない環境や、失敗したら怒られる・とがめられるなどの環境は、何かをやるうとする気持ちがあっても、子どもを無気力にさせます。また、成長過程にある子どもにとって、ありのままの自分を受け入れてくれる人の存在がやる気を育てるのに不可欠だともいいます。

学校では、これらのことを踏まえ、互いに認め合える関係作りや集団作りなど、周囲の環境や人、全てを整え、一人一人の子どもがチャレンジ精神を発揮し、目標をもって意欲的に活動できるよう取り組んでおります。ご家庭のご協力もいただき、今後とも子どもたちのやる気を引き出し、育て、一人一人の子どもが目標に向かって活動する、その活動が見える学校づくりに取り組んでまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

3年2組担任大野幸代教諭病休のお知らせ

3年2組担任大野幸代教諭におきましては、1月中旬より体調不良によるお休みをいただいていたが、この程医師の診断により2月末まで1ヶ月間の病休をとることになりました。3年2組の授業につきましては、管理職、学年の教諭、副担任、少人数指導教諭、臨時講師にて進めてまいります。ご迷惑をおかけいたしますが、よろしく願い申し上げます。

なお、2月2日より【臨時講師】長谷川智也講師 が勤務いたします。あわせて、よろしく願い申し上げます。

いつも元気な6組です

6組主任 吉田 達

6組は、物事を一つ一つ時間をかけて考える人、整理整頓が好きな人、何事にもくじけずに明るく前向きな人、人を笑わせるのが得意な人、誰にでも挨拶ができる人など、一人一人がとっても魅力的な学級です。

常に「将来、自立し、社会参加をしていくための力を身につける」ことを考えて学習に取り組んでいます。一人一人の素晴らしい個性を十分に尊重し認め、将来社会に出ていくときに、どうその個性が発揮されていくかを考えながら指導をしています。教科では一人一人に合わせた学習を行っています。また自分を表現するために発表の機会をたくさん設けたり、クラス内で責任感を持たせるためにたくさんの役割分担を決めたり、たくさんの方々から協力していただきながら、学年行事や給食などの交流などをしております。

今年一年を振り返り、八年生を中心に、教科学習や行事、すべてにおいて本当に一生懸命に取り組んできました。また、日頃交流などでお世話になっているクラスや先生方に感謝の気持ちを込めて、作業の時間に製作した「版画カレンダー」を配布させていただきました。

今後も学級目標である「あいさつ」「返事」「いすを入れる」「連絡・相談・報告」を意識しながら、時間をかけて「できること」を増やして取り組んでいきたいと考えております。



最少にして最強(?)の6年生～小学校卒業に向けて～ 6年担任 大滝 さつき

6年生は、39名と大所帯ですが、日野学園唯一の単学級で一番人数の少ない学年です。小中一貫校ということで、『卒業』の意味合いは他校の6年生と異なるところもありますが、「このクラスは、今年度で解散。最後に笑顔で卒業！」を合言葉に小学校最後の一日一日を大切に過ごしています。1クラスでも、「やるぞ!」と決めたら底力を発揮するのが6年生のよさ。先日行われた5・6・7年合同百人一首大会では、個人優勝、2位、3位、クラス優勝を独占しました。また、7年生と移動教室、職場訪問等一緒に実施したり、1年生と英語と一緒に活動したり、1年生と朝一緒に遊ぶ『6年生版 B & S』を行ったり、小中の掛け橋的存在でもあります。卒業まであと2ヶ月足らずとなりましたが、7年生に向けてしっかり力をつけ、はばたいて行ってほしいと願っています。



連合体育大会で『品川甚句』を踊る6年生。チームワークもよかったです。

2学期末の打ち上げパーティー。友達とカード交換しました。



職場訪問の報告。6年も7年も緊張気味(右) 職場訪問の計画を6・7年生で立てているところ(左)



百人一首大会の様(左)と個人優勝・クラス優勝で喜ぶ子どもたち。(左下)



B & S 6年生バージョン。朝8時から1年生と遊びました。(上)(左)

